

# 悠久の狭山池

## 「今」に「古代」の姿を撮す

古のいずれの時代にか時の帝の勅令によりこの地の農民の農事を盛んにし民業を広めるために築造された狭山池。確かな築造年について幾多の説が述べられてきましたが、近年大阪狭山市の狭山池博物館に保存されている築造時の配水管に使用されていた木管の年輪により、これに用いられた木が伐採された年が判明しました。その年が西暦616年。狭山池築造年と定められました。そして2016年、狭山池は日本最古のダム形式の溜め池として1400年の記念の年を迎えます。大阪狭山市はこの記念の年に大阪府と共に数々の記念行事を催します。

AGUA 6号の特集を「狭山池」としました。1400年を経て「今」に生きる池の姿の中にこの池の原型を探って、様々に変わる池の表情を撮り続けておられる写真家の小川幸三さんに紙上展覧会をお願いしました。題して「狭山池の「今」に「古代」の姿を撮す」思いがけない発見をお楽しみください。

尚、作品の間に配しました俳句は「迎月庵幻俳句集」から転載させていただきました。

※迎月庵幻(げいげつあん・まぼろし)は末永雅雄博士のご尊父の俳号。

常に見ぬ  
滝や狭山の西の除げ

干潟の様子は古代の空間にいるようだ。

葦菜や  
古歌の俤  
残る池